

# 〈みとしん〉景気動向調査 economy trend

2011年 7~9月期

第40回

## 概況 業況大幅改善、震災後の持ち直し進む

今期（2011年7~9月期）の業況判断D.Iは▲24.6と、震災直後の前期（2011年4~6月期）の▲33.5から8.9ポイント改善し、調査開始以来最大の改善幅となりました。震災後の原材料価格は依然として上昇傾向が見られるものの、懸念されていた在庫不足の改善が進むなか、リーマンショック直前の2008年7~9月期（▲28.2）を超える水準まで回復しました。

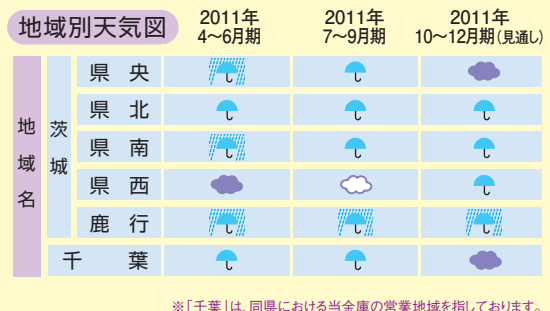
個別項目では、前年同期比売上額判断D.Iは▲25.5（前期▲36.5）、同収益判断D.Iも▲27.5（前期▲41.5）と、それぞれ前期比11.0ポイント、14.0ポイントの大幅改善となりました。前期比売上額判断D.Iは▲13.0（前期▲29.3）、同収益判断D.Iも▲18.4（前期▲34.0）とそれぞれ前期比16.3ポイント、15.6ポイントの大幅改善となりました。

仕入価格判断D.Iは13.5（前期12.6）と前期比0.9ポイントの小幅上昇、販売価格判断D.Iは▲9.3（前期▲15.6）と前期比6.3ポイントの上昇となりました。資金繰り判断D.Iは▲25.1（前期▲32.1）と7.0ポイントの改善となりました。また、設備投資実施率は9.6%（前期10.3%）と0.7ポイント低下しています。

業種別の業況判断D.Iについては、製造業 [▲33.3→▲24.2]、卸売業 [▲59.3→▲32.1]、小売業 [▲38.6→▲35.2]、サービス業 [▲34.8→▲30.8]、建設業 [▲17.2→▲5.3]、不動産業 [▲25.5→▲23.2] となり、すべての業種で改善しました。

地域別の業況判断D.Iを見ますと、県央 [▲37.9→▲23.3]、県北 [▲25.0→▲23.6]、県南 [▲35.4→▲27.5]、県西 [▲10.5→▲5.3]、鹿行 [▲50.0→▲30.0]、千葉 [▲27.8→▲27.8] と、千葉を除くすべての地域で改善しました。

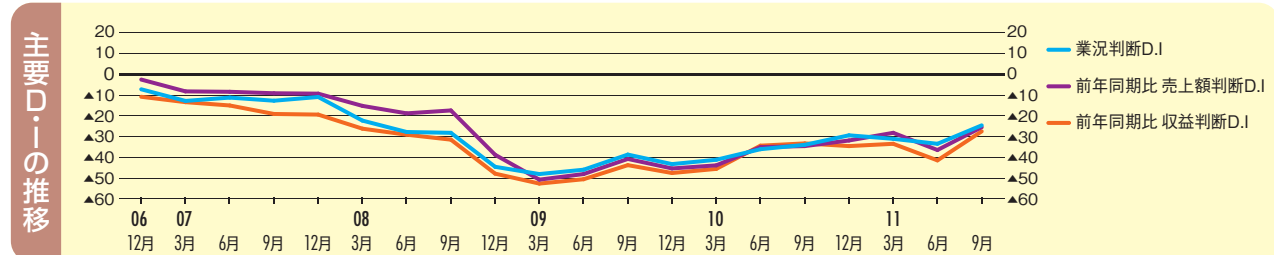
来期（2011年10~12月期）の見通しについては、業況判断D.Iが▲17.0と7.6ポイントの改善を見込んでいます。業種別ではすべての業種で改善を見込んでおり、地域別では県西・鹿行を除く4地域で改善を見込んでいます。また、予想前期比売上額判断D.Iは▲2.5、同収益判断D.Iも▲6.8と、ともに大幅改善を予想しており、震災後の持ち直しの動きに年末という季節要因を加え、改善の動きをどこまで押し上げることができるか注目されます。



※「千葉」は、同県における当金庫の営業地域を指しております。

この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しております。

天気図の見方 好調← →低調



## 〈みとしん〉景気動向調査とは

お取引先への情報サービスの一環として、2001年10~12月期実績より調査を開始しました。本調査は水戸信用金庫のお取引先の経営者を対象として、各店の担当者が質問事項を用意し聞き取る方法で行い、各質問事項で「増加した」（良い）とする企業が全体に占める構成比と、「減少した」（悪い）とする企業の構成比との差（判断D.I）を用いて分析を行っています。対象業種（対象先数）は、製造業（96社）、卸売業（59社）、小売業（94社）、サービス業（95社）、建設業（97社）、不動産業（59社）の6業種（合計500社）です。（今回の回答率は96.6%）

## 製造業

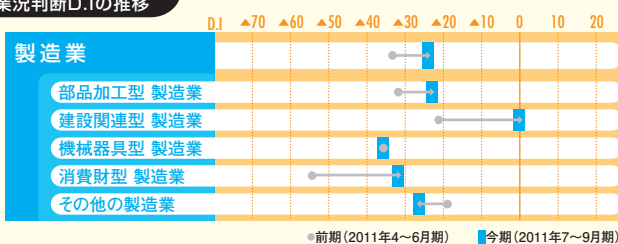
今期の業況判断D.Iは▲24.2と、前期比9.1ポイントの改善となりました。前年同期比売上額判断D.Iは▲22.1、同収益判断D.Iは▲25.3とそれぞれ前期比8.0ポイント、9.1ポイントの改善となりました。また、資金繰り判断D.Iも▲18.9と前期比6.9ポイントの改善となっています。

来期の予想業況判断D.Iについては▲16.8と、今期比7.4ポイントの改善を見込んでいます。

### お取引先のコメントから

原料となる野菜の放射能測定値は基準値以内であるが、製品化した場合の風評が心配である。

業況判断D.Iの推移



### 製造業における経営上の問題は?

- ① 売上の停滞・減少 .....46.3
- ② 利幅の縮小 .....32.6
- ③ 同業者間の競争の激化 .....28.4

### 問題に対する当面の重点経営施策は?

- ① 販路を広げる .....65.3
- ② 経費を削減する .....57.9
- ③ 情報力を強化する .....16.8

## 卸売業

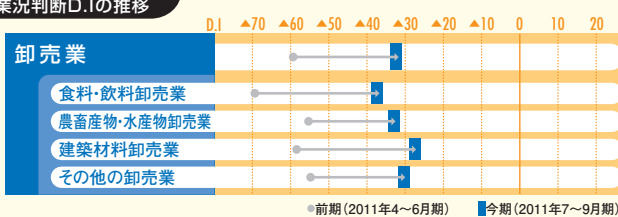
今期の業況判断D.Iは▲32.1と、前期比27.2ポイントの大幅改善となりました。前年同期比売上額判断D.Iは▲30.4、同収益判断D.Iは▲33.9と、それぞれ前期比30.7ポイント、23.5ポイントの大幅改善となりました。また、資金繰り判断D.Iも▲32.1と前期比6.8ポイントの改善となっています。

来期の予想業況判断D.Iについては▲25.0と、今期比7.1ポイントの改善を見込んでいます。

### お取引先のコメントから

原発事故の影響により、より安全な商品を求めて野菜・果物を他県から仕入れるため運送コストが増加している。

業況判断D.Iの推移



### 卸売業における経営上の問題は?

- ① 売上の停滞・減少 .....62.5
- ② 利幅の縮小 .....37.5
- ③ 同業者間の競争の激化 .....35.7

### 問題に対する当面の重点経営施策は?

- ① 経費を削減する .....64.3
- ① 販路を広げる .....64.3
- ③ 流通経路の見直しをする .....19.6

## 小売業

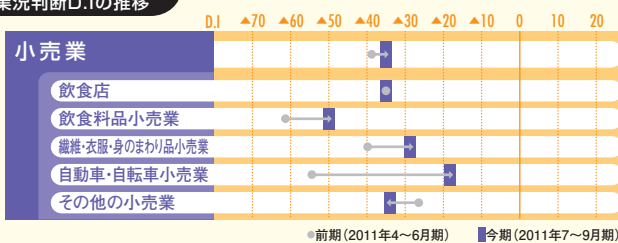
今期の業況判断D.Iは▲35.2と前期比3.4ポイントの改善となりました。前年同期比売上額判断D.Iは▲46.2と前期比0.7ポイント悪化したものの、同収益判断D.Iは▲45.1と前期比2.6ポイントの改善となりました。また、資金繰り判断D.Iは▲27.5と前期比4.3ポイントの改善となっています。

来期の予想業況判断D.Iについては▲22.0と、今期比13.2ポイントの大幅改善を見込んでいます。

### お取引先のコメントから

中古車の在庫の多くはガソリン車であるが、震災以降、ハイブリッド車の人気が高くなっている。

業況判断D.Iの推移



### 小売業における経営上の問題は?

- ① 売上の停滞・減少 .....50.5
- ② 同業者間の競争の激化 .....41.8
- ③ 利幅の縮小 .....29.7

### 問題に対する当面の重点経営施策は?

- ① 経費を削減する .....61.5
- ② 売れ筋商品を取扱う .....25.3
- ② 品揃えを改善する .....25.3

## サービス業

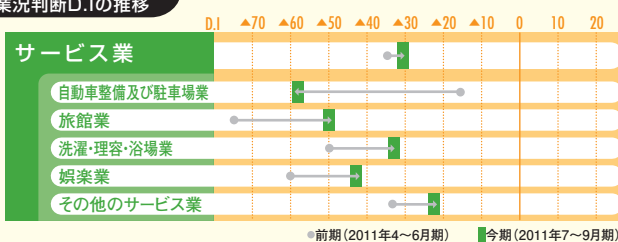
今期の業況判断D.Iは▲30.8と、前期比4.0ポイントの改善となりました。前年同期比売上額判断D.Iは▲37.4、同収益判断D.Iは▲36.3と、それぞれ前期比13.2ポイント、16.5ポイントの大幅改善となりました。また、資金繰り判断D.Iも▲24.2と前期比12.9ポイントの大幅改善となりました。

来期の予想業況判断D.Iについても▲18.7と、今期比12.1ポイントの大幅改善を予想しています。

### お取引先のコメントから

学習塾を経営しているが、生徒たちに学習しやすい環境を提供するため、節電は難しかった。

業況判断D.Iの推移



### サービス業における経営上の問題は?

- ① 同業者間の競争の激化 .....50.5
- ② 売上の停滞・減少 .....44.0
- ③ 利幅の縮小 .....25.3

### 問題に対する当面の重点経営施策は?

- ① 経費を削減する .....57.1
- ② 販路を広げる .....53.8
- ③ 宣伝・広告を強化する .....27.5

## 建設業

今期の業況判断D.Iは▲5.3と前期比11.9ポイントの大幅改善となり、調査開始以来の最高値となりました。前年同期比売上額判断D.Iは7.4、同収益判断D.Iは1.1と、それぞれ前期比12.8ポイント、24.8ポイントの大幅改善となりました。また、資金繰り判断D.Iも▲26.6と前期比4.6ポイントの改善となっています。

来期の予想業況判断D.Iについては▲3.2と、今期比2.1ポイントの改善を見込んでいます。

### お取引先のコメントから

震災復旧工事が増加したため、その他の工事は減少したが、全体として受注は増加傾向にある。

### 業況判断D.Iの推移



### 建設業における経営上の問題は?

- 1 同業者間の競争の激化 .....52.1
- 2 売上の停滞・減少 .....37.2
- 3 利幅の縮小 .....36.2

### 問題に対する当面の重点経営施策は?

- 1 経費を削減する ..... 63.8
- 1 販路を広げる ..... 63.8
- 3 技術力を高める ..... 27.7

## 不動産業

今期の業況判断D.Iは▲23.2と前期比2.3ポイントの改善となりました。前年同期比売上額判断D.Iは▲28.6、同収益判断D.Iは▲30.4と、それぞれ前期比10.6ポイント、8.8ポイントの改善となりました。また、資金繰り判断D.Iも▲23.2と、前期比6.2ポイントの改善となっています。

来期の予想業況判断D.Iについては▲21.4と、今期比1.8ポイントの改善を見込んでいます。

### お取引先のコメントから

震災以降、一般個人客の動きが鈍い。建築会社との提携により販路を拡大する予定である。

### 業況判断D.Iの推移



### 不動産業における経営上の問題は?

- 1 売上の停滞・減少 .....42.9
- 2 利幅の縮小 .....41.1
- 3 同業者間の競争の激化 .....39.3

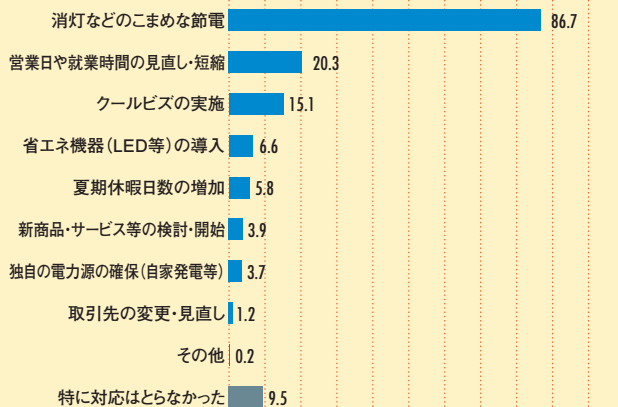
### 問題に対する当面の重点経営施策は?

- 1 販路を広げる ..... 41.1
- 2 情報力を強化する ..... 39.3
- 3 経費を削減する ..... 30.4

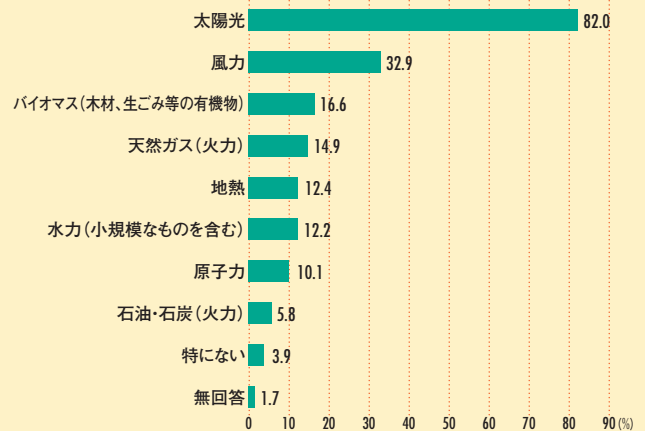
※「経営上の問題は?」「問題に対する当面の重点経営施策は?」は複数回答であり、各回答ごとに、全回答者数に占める割合を計算したものです。

## 特別調査 [電力不足に伴う中小企業への影響と対応について]

1 貴社では、今夏の電力不足を受けて何らかの対応をとりましたか。(3つ以内)



2 今後、長期的にみて利用拡大が望まれるエネルギーは何だと思いませんか。(3つ以内)



今夏の電力不足への対応については、9割以上の企業が何らかの対策をとったと回答しており、内訳は「消灯などのこまめな節電」(86.7%)が最も多く、以下「営業日や就業時間の見直し・短縮」(20.3%)、「クールビズの実施」(15.1%)と続き、特に「クールビズの実施」については、従業員数20人以上の比較的大規模の大きい企業で多くの回答を集めました。また、「営業日や就業時間の見直し・短縮」は製造業で、「クールビズの実施」は不動産業でそれぞれ高い回答割合を占めており、業種により電力不足への対応の違いが見られました。

今後、長期的に利用拡大が望まれるエネルギーとしては、「太陽光」(82.0%)が業種、従業員規模を問わず、最も多くの回答を集めました。次いで、「風力」(32.9%)、「バイオマス(木材、生ごみ等の有機物)」(16.6%)、「天然ガス(火力)」(14.9%)、「地熱」(12.4%)と続き、従来の化石燃料に加え、安全で再生可能なエネルギーへの期待がより高くなっているといえそうです。